

首都圏MSMにおける 「新型コロナ流行とHIV予防」に関する調査

調査概要

集計速報

令和2年度 厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業
HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究(研究代表者 今村顕史)

「MSMおよびゲイ・バイセクシュアル男性のHIV検査受検につながる支援」
研究分担者 本間隆之(山梨県立大学看護学部)
研究協力 特定非営利活動法人akta



HIV予防と 新型コロナ 対策についての 首都圏 アンケート

10月16日～10月26日実施

首都圏からの
参加募集中！

調査の背景

- ▶ 第155回エイズ動向委員会において、令和2年第1・第2四半期の保健所等におけるHIV検査相談件数は、前年同期に比べて大きく減少。
- ▶ これまでHIV感染リスクの高いMSMに対して、HIV検査受検勧奨をしてきたが、HIV検査を提供する施設が新型コロナ対策で一部休止等になった。
- ▶ MSMの人達はその状況の中、どのように過ごしていたのか。

調査の目的

- ▶ 新型コロナ感染症流行期において、MSM(ゲイ・バイセクシュアル男性)の新型コロナ感染予防と、HIV検査受検行動や性行動を含むHIV予防行動を把握する。

調査の実施概要

④ 調査実施期間

- ◆ 2020年10月16日から26日の11日間

④ リクルート方法

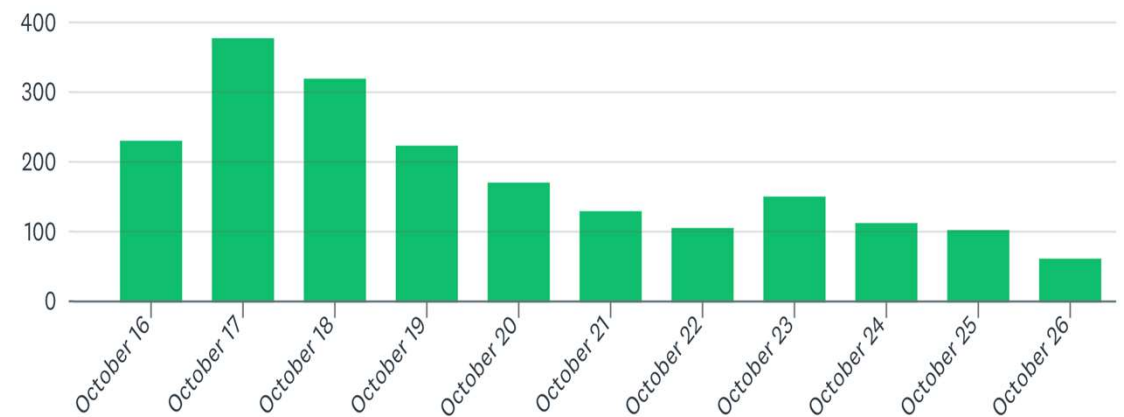
- ◆ ゲイ向けSNSにポップアップバナーを掲載
- ◆ ランディングページにて、研究概要説明掲載
- ◆ 同意の人は調査サイトへリンク

④ 今回の分析対象者

- ◆ 20歳以上
- ◆ MSM
- ◆ HIV陽性ではない



回答参加者（回答終了）数の推移 October 12 - October 26



調査の結果

1 / 4

調査の結果（回答者属性）

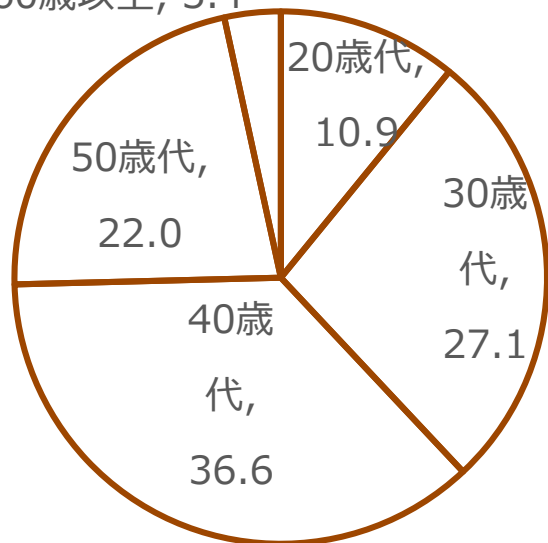
回答者の概要

数値は% (n=1327)

回答者属性

② 年齢 中央値43歳

60歳以上, 3.4



② 居住地

回答者の居住地

東京都の23区内	(52.3)
東京都23区外	(9.3)
神奈川県	(14.2)
埼玉県	(10.5)
千葉県	(8.2)
茨城県	(2.2)
栃木県	(1.1)
群馬県	(1.3)
山梨県	(0.9)

② 職業

あなたの今の職業はどれですか

正規雇用	(67.9)
非正規(パート,契約社員)	(12.9)
自由業・自営業・経営	(12.1)
学生	(2.6)
働いていない	(4.1)
その他	0.5

② 性感染症の既往

性感染症 (複数回答)

梅毒	(17.4)
クラミジア	(14.5)
淋病	(9.6)
A型肝炎	(2.6)
B型肝炎	(11.0)
C型肝炎	(0.7)
尖圭コンジローマ	(8.1)

② 検査関係情報の認知

Q10.あなたは下記の施設やウェブサイトを知っていますか

南新宿検査・相談室	(53.6)
HIVマップ	(29.0)
HIV検査・相談マップ	(35.6)
いずれも知らない	(34.0)

回答者の概要

数値は% (n=1327)

④ aktaの認知

Q09. これまで「akta」に行ったことがあるか

行ったことがある	(18.8)
行ったことはないが知っている	(42.7)
今まで知らなかった	(38.5)

④ U=Uの認知

Q11. 「(U=U)」を知っていますか

知っている	(65.3)
知らない	(34.7)

④ PrEPを行った経験

Q14. これまでにPrEPを行ったこと

ある	(12.7)
ない	(87.3)

④ 相談する相手の人数

Q12. 自分のセックスやセクシュアリティに関する困りごとを、相談できる人は何人くらいいますか

いない	(29.9)
1人	(12.7)
2-5人	(44.5)
6人以上	(13.0)

④ カミングアウト人数

Q13. 自分のセクシュアリティについて、カミングアウトした人は何人くらいいますか

いない	(34.6)
1人	(8.3)
2-5人	(28.7)
6人以上	(28.4)

新型コロナウイルス感染症 2 / 4

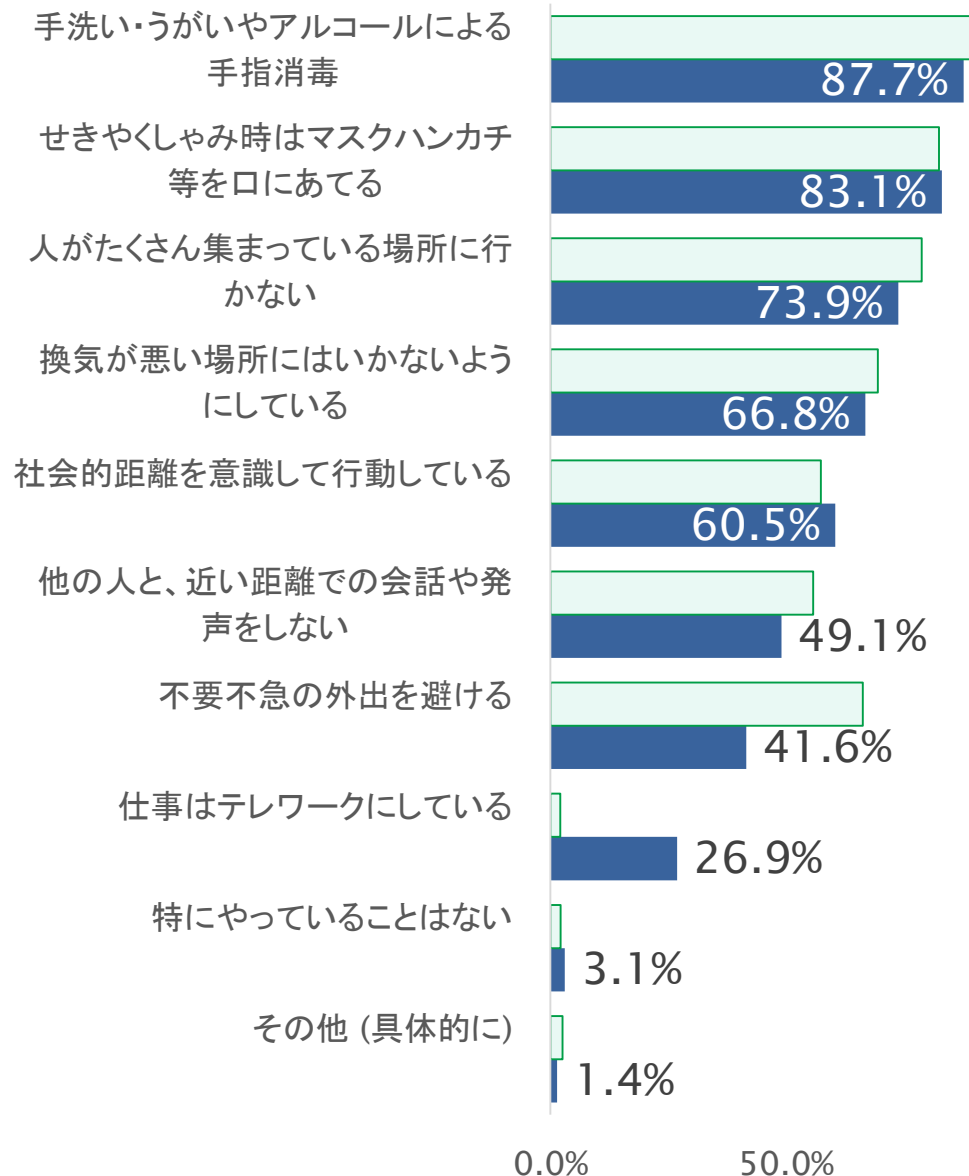
流行時の生活とセックスの対応

新型コロナ感染予防のためにしていること

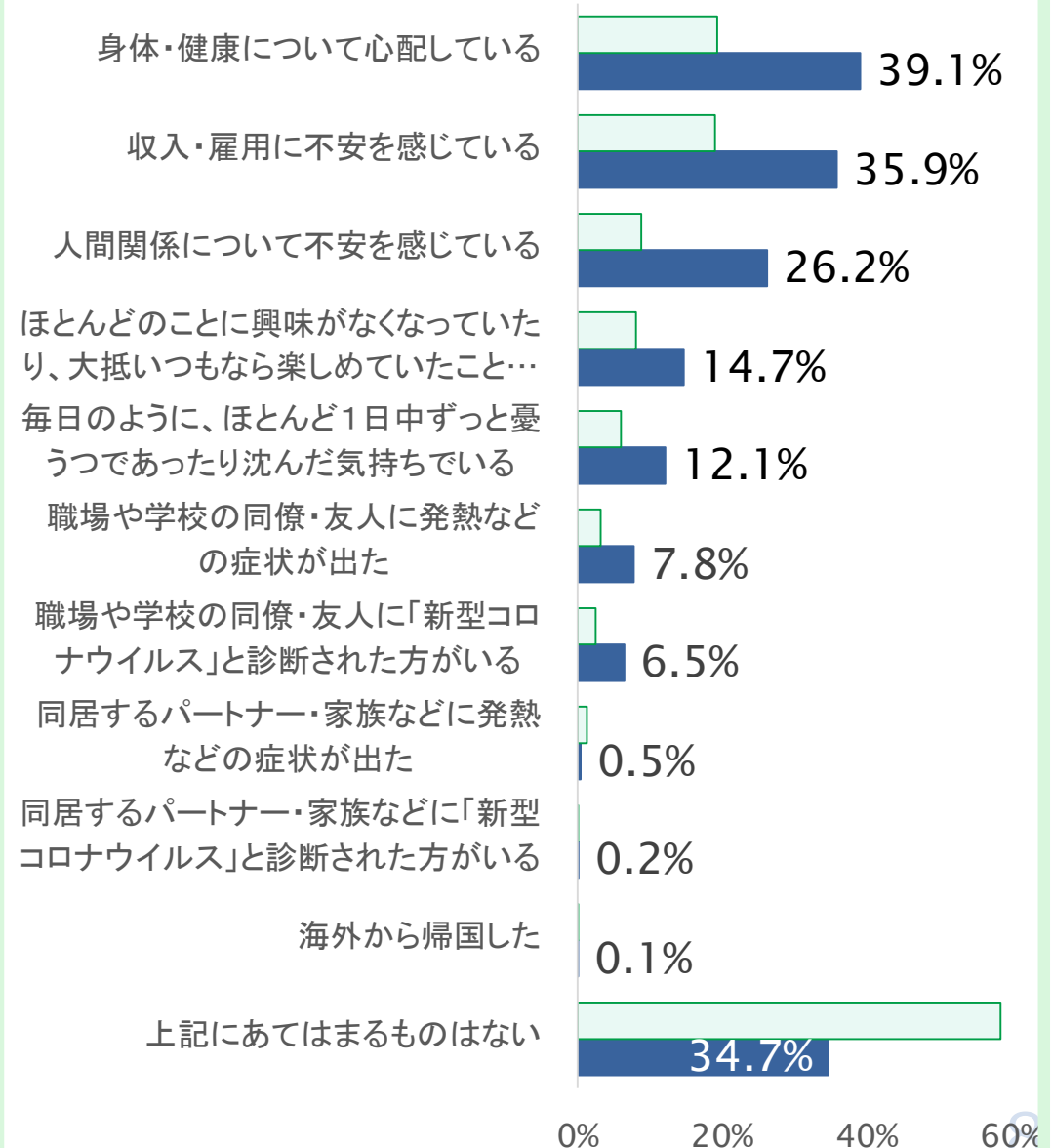
一般集団LINE全国調査（8月）

今回MSM首都圏調査（10月）

新型コロナ感染予防のためにしていること （あてはまるものすべて）



直近2週間で、自分にあてはまるもの（あてはまるものすべて）



コロナとセックスの啓発の項目の評価

Q21セックスについて新型コロナ感染予防のためにしていること（あてはまるものすべて）

セックスの前と後に手洗いとうがいをする

自分や相手の体調が悪い場合、セックスをひかえる

シャワーをこまめに浴びる

セックスの相手を特定の人に限るなど、少なくする

セックスの機会を減らして、オナニーを楽しむ

セックスをしていない

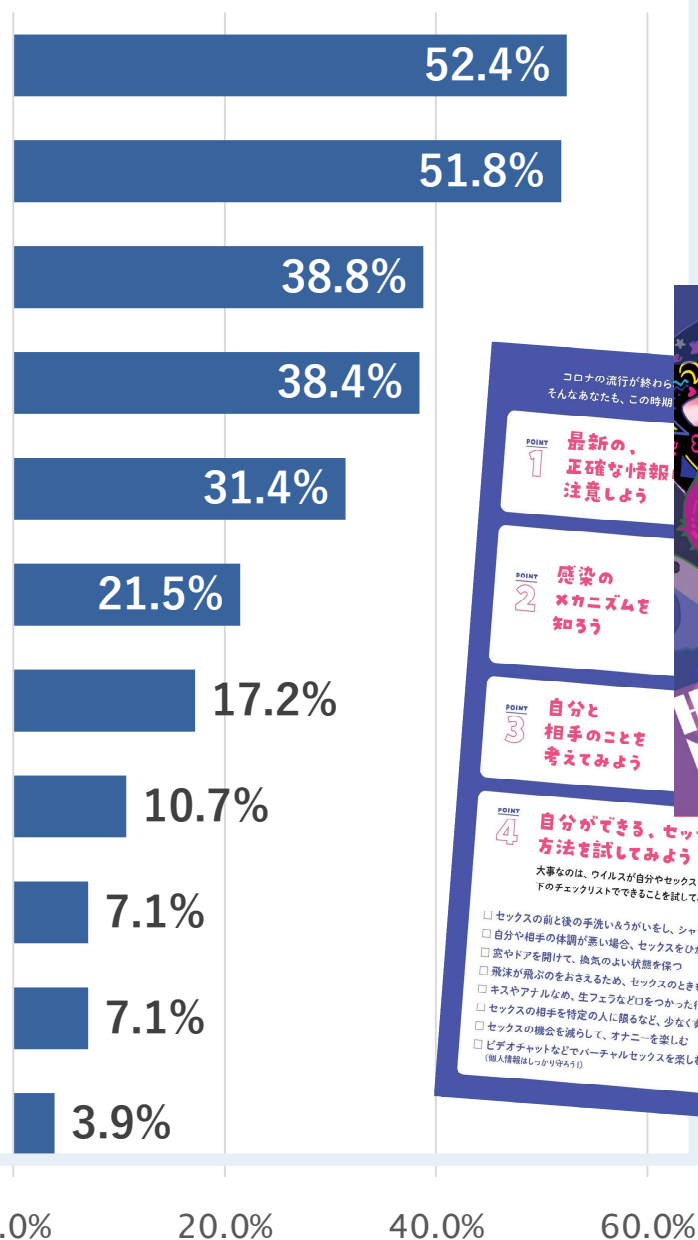
窓やドアを開けて、換気のよい状態を保つ

セックスについて新型コロナ感染予防を特にしていない

キスやアナルなめ、生フェラなど口をつかった行為をさける

ビデオチャットなどでバーチャルセックスを楽しむ

飛沫が飛ぶのをおさえるため、セックスのときもマスクを着ける



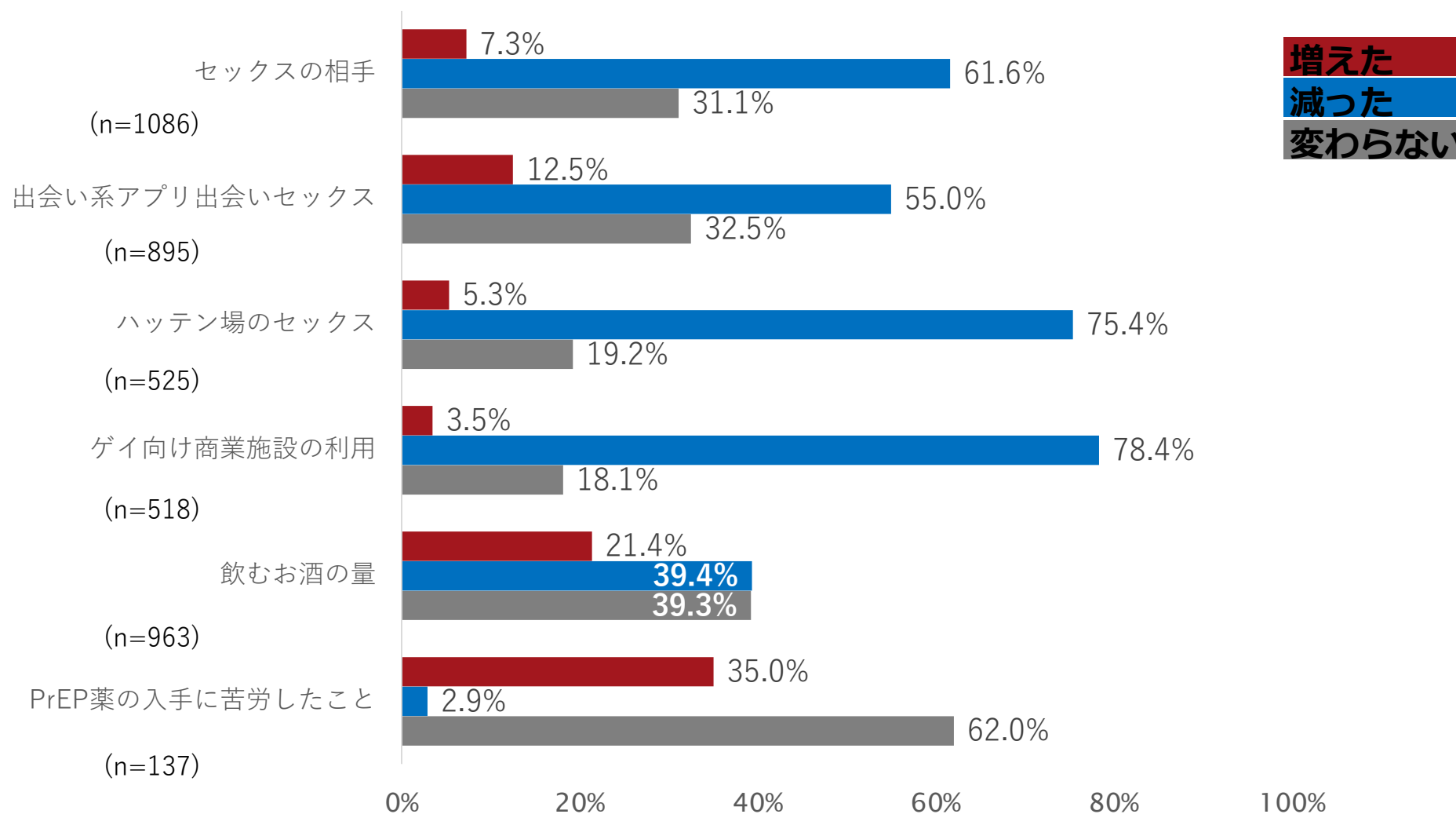
緊急事態宣言の前後半年間

3 / 4

性行動などの状況

緊急事態宣言後の変化

④ 半年間での緊急事態宣言前後の半年間を比べて、次の項目の回数や量が変わりましたか

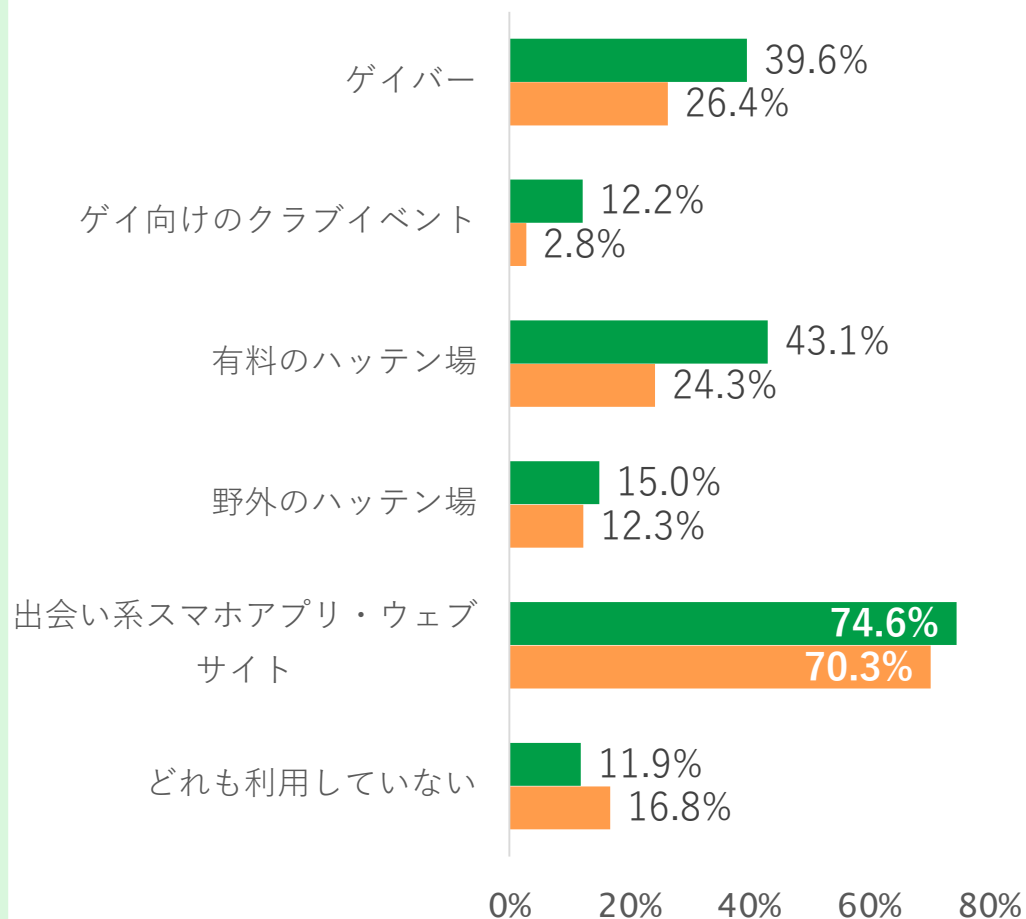


緊急事態宣言前後の半年間 (n=1373)

緊急事態宣言 **前**
緊急事態宣言 **後**

調査の結果

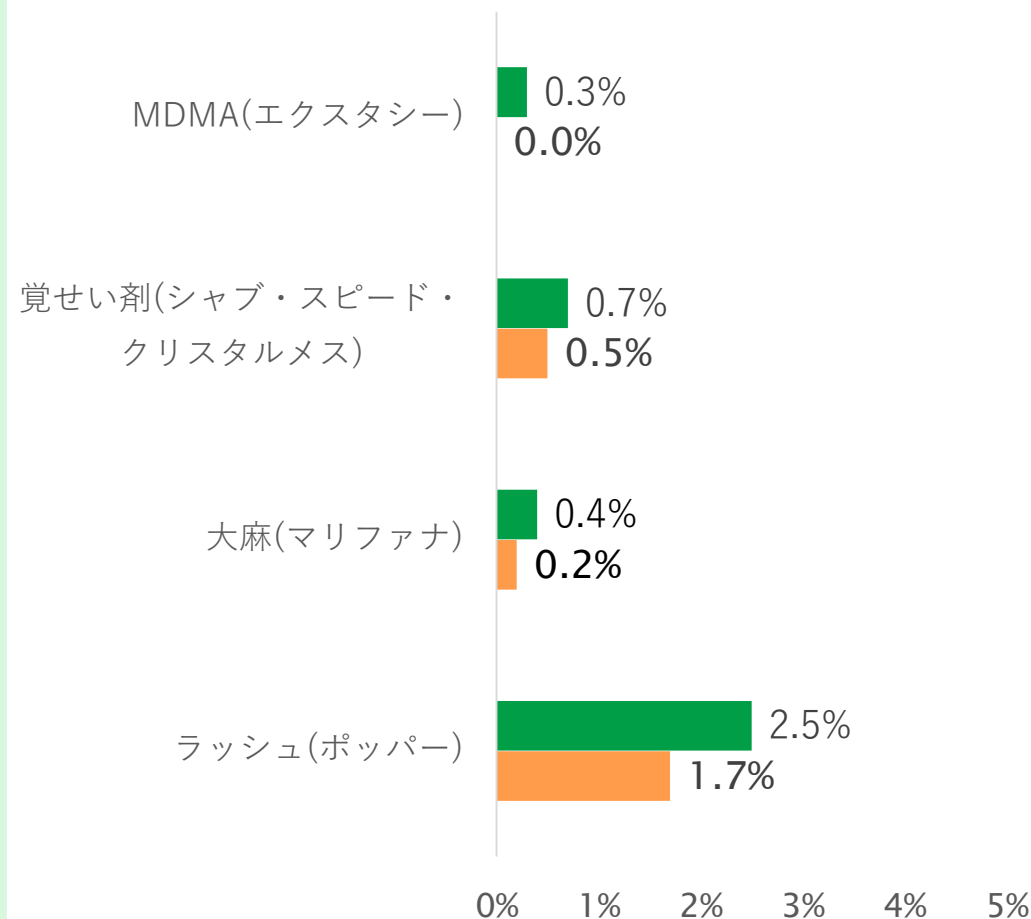
利用した施設など



実店舗の利用が大きく減少

利用したもの

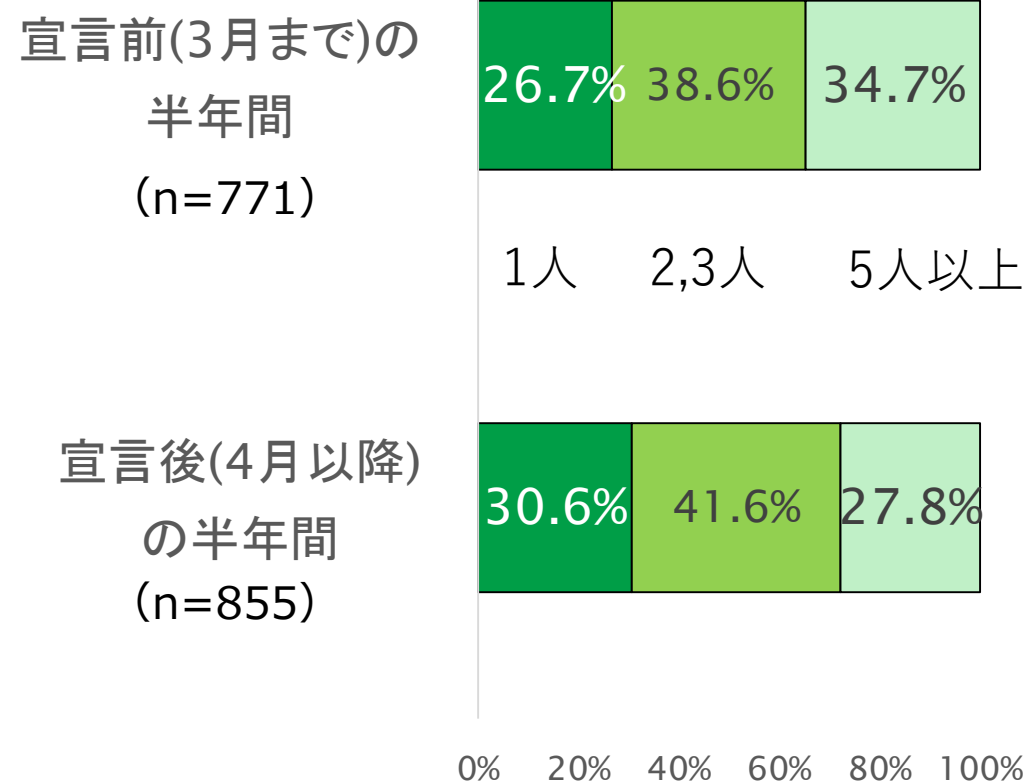
「どれも利用していない」を除く



ドラッグの利用は微減

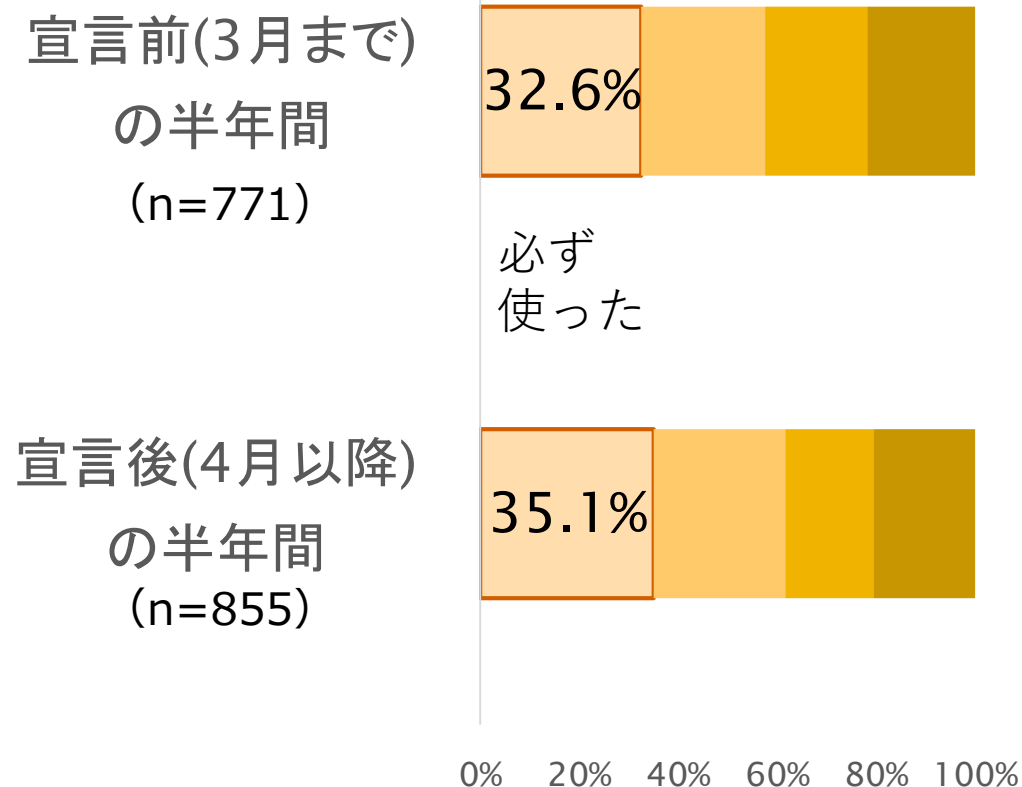
緊急事態宣言前後の半年間 (n=1373)

㊦ アナルセックス時の相手の人数
(アナルをしなかった人を除外した%)



5人以上はやや減少

㊦ アナルセックス時のコンドーム使用
(アナルをしなかった人を除外した%)



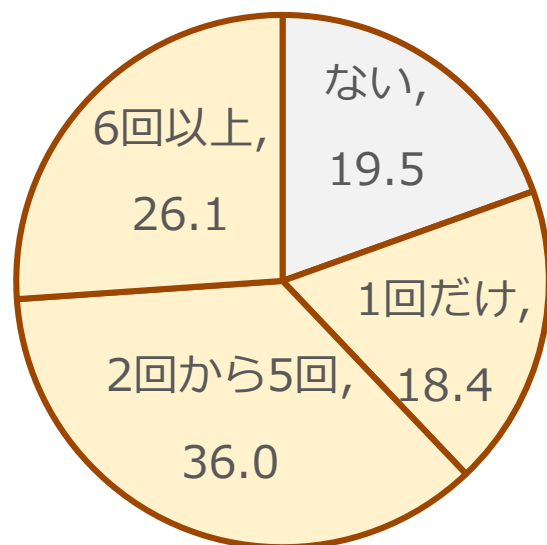
大きい変化は無し

緊急事態宣言の前後半年間 4 / 4

HIV予防（検査行動）

検査行動 1

㊦ 受検経験あり80.5% (n=1327)



㊦ うち、定期的な受検43% (n=1068)

Q23.緊急事態宣言前(今年3月以前)は、HIV検査を定期的に受けていましたか

6か月またはそれより短いペースで受けていた (19.2)

おおよそ1年に一度のペースで受けていた (24.2)

特にペースは決めていなかった (56.6)

㊦ 最後に検査を受けた時期 (n= 1068)

Q24.HIV検査を最後に受けた時期

過去 6 か月以内 (30.0)

6 か月以上1年以内 (18.9)

1年以上2年以内 (21.1)

2年以上前 (30.1)

㊦ 最後に受検した場所 (n= 1068)

Q25.最後に受けたHIV検査の種類 (場所)

保健所・保健センター (30.3)

病院、診療所、クリニック (30.3)

東京都南新宿検査・相談室 (17.4)

イベントHIV検査会 (5.3)

郵送検査 (5.1)

HIVcheck.jp (3.1)

手術前・入院時の検査 (2.7)

自己検査キット (2.1)

多摩地域検査・相談室 (1.5)

その他 (30.3)

㊦ 検査の受検意図 (n=1327)

Q26.緊急事態宣言後の半年間に、HIV検査を受けたいと思ったこと

ない (53.7)

ある (46.3)

㊦ 検査ひかえの経験 (n=614)
Q26=「ある」の人

Q27.緊急事態宣言後の半年間に、新型コロナの感染予防のために、HIV検査を受けるのを控えたこと

ない (67.4)

ある (32.6)

検査行動 2

㊦ 受検できなかった21% (n=614)

Q28.緊急事態宣言後(今年4月以降)の半年間に、受けようと思っていたHIV検査が新型コロナの影響で休止して、検査を受けられなかったことがありますか

ない	(77.9)
受けようと思っていた保健所がHIV検査を休止していた	(15.3)
受けようと思っていた病院や診療所がHIV検査を休止していた	(5.9)
その他(具体的に)	(3.3)

㊦ 定期的なHIV検査受検 (n=136)

Q29. 保健所や病院のHIV検査が利用できなかった時、他のHIV検査を利用しましたか

4月以降は検査を受けていない	(61.0)
他の地域の保健所・保健センターを利用	(5.1)
他の病院、診療所、クリニックを利用	(8.1)
東京都南新宿検査・相談室を利用	(8.8)
東京都多摩地域検査・相談室を利用	(0.0)
献血を利用	(1.5)
郵送検査を利用	(1.5)
自己検査キットを利用	(1.5)
イベントHIV検査会を利用	(4.4)
その他	(8.1)

- ・再開してからもともと検査予定だった施設で検査した
- ・電話で問い合わせ、検査してもらった
- ・時期をずらして受診した
- ・SH外来
- ・検査をしなかった
- ・延期した

HIV予防と 新型コロナ 対策についての 首都圏 アンケート

10月16日～10月26日実施

首都圏からの
参加募集中！

この調査は、首都圏に住むゲイ・バイセクシュアル男性を対象として、新型コロナ流行期におけるHIV予防の現状を知るための重要なアンケートです。今後のゲイ・バイセクシュアル男性のHIVと新型コロナの対策に活かされます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

この調査は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究（研究代表者：今村顕史，研究担者：本間隆之）」の一部として実施いたします。

途中でアンケートの回答をやめることもできます。回答をもって、目的を理解しご協力をいただいたことになります。

アンケートをはじめる



※専用ページに移動します

本アンケートについて

1. 首都圏にお住まいの、男性とセックスをする男性を対象としたアンケートです。
2. 調査期間は2020年10月16日から10月26日を予定
3. スマートフォンを使っでの参加で、回答には約5分程度必要です。内容はHIV検査経験や性行動、新型コロナの知識などについてです。
4. アンケートへの協力は自由意志であり、回答の送信をもってご協力をいただいたものとします。途中でアンケートの回答をやめることも可能です。

5. 回答データはSSLによって保護されており、データは暗号化されて送信されます。
6. 個人を特定するデータは収集しません。お答えいただいた内容は統計的に処理され、個人が特定されることはありませんのでご安心ください。
7. 本アンケートの成果は、学会や論文で発表される場合がありますが、個人を特定するような情報が公表されることはありません。収集したデータは研究倫理指針に基づき適切に管理破棄いたします。
8. 山梨県立大学看護学部研究倫理審査委員会の承認を受けて実施しています。
9. 上記の内容をご理解いただき、同意してご協力いただける場合のみ、「アンケートをはじめる」を押してアンケートを開始してください。なお、回答を始めた後でも、最後ページにある「回答を送信」をクリックしないことで中止や撤回を行うことができます。
10. 問合せ先：山梨県立大学看護学部 本間隆之 thomma@yamanashi-ken.ac.jp

アンケートをはじめる



※専用ページに移動します

【問い合わせ先】

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」

東京都新宿区新宿2-15-13第二中江ビル302(akta内)
担当：本間隆之(山梨県立大学)、岩橋恒太(NPO法人akta)
メールアドレス：thomma@yamanashi-ken.ac.jp

調査項目

- ④ 属性：回答したのはどんな人か
 - ◆ 年齢、性別、居住地、国籍、職業、aktaの認知、U=Uの認知、PrEP利用経験、性感染症の既往
- ④ COVID19予防行動、直近2週間の行動（Line調査の項目）
- ④ 新型コロナ対策でセックスに関して変化があったか
 - ◆ aktaの啓発項目
- ④ 「緊急事態宣言4月」前後の半年間での行動の変化
 - ◆ 利用したゲイ向け施設、ドラッグ、金銭を介したセックス、アナルセックスの相手の数、アナルセックス時のコンドーム使用、
- ④ 緊急事態宣言前後の半年間での行動の変化（増減を質問）
 - ◆ 相手の数、アプリ出会い相手とのセックス、ハッテン場でのセックス、ゲイ向け商業施設の利用、飲酒量、セックスドラッグ、PrEP薬の入手困難、
- ④ これまでのHIV検査経験、最後に受検した時期と場所
 - ◆ 緊急事態宣言前、HIV検査を定期的に受けていたか
 - ◆ 緊急事態宣言後の、受検意図、受検控え、受けられなかったこと、他の機会の利用